

令和 かわら版

第23号
諏訪形自治会
会長山越敏雄

諏訪形自治会交流親睦会が開催されました

五月二十六日(日)諏訪形自治会交流親睦会が行われました。今回は三種目、参加総勢五十五名で盛大に開催されました。さわやかな好天に恵まれ親子での参加もあり楽しく充実した一日となりました。

氷マレットゴルフ

マレットゴルフは、十五名の皆さんにご参加いただき、ハーフ橋マレットゴルフ場を会場に行われました。成績は次のとおりです。

- 優勝・・・柳澤 実さん (スコア 64)
準優勝・・・宮下 修さん (スコア 65)
第三位・・・林 慧子さん (スコア 68)
第三位・・・中村 十四子さん (スコア 68)



- バスグロ男性部門・玉木 和夫さん (スコア 56)
バスグロ女性部門・玉木 まき代さん (スコア 56)
なお今回、ホールインワン賞はありませんでした。

氷吹き矢

スポーツ吹き矢は公民館大広間を会場に二十一名の参加で行われました。今回は親子でご参加いただきました。ご家庭もあり、たいへん盛り上がりました。また、有賀西夫さん、大林正樹さんほかベテランの皆さんにご指導いただき、楽しく取り組みことができました。



氷諏訪形誌を歩く

諏訪形自治会交流親睦会では、本年も諏訪形誌活用委員会との共催で「諏訪形誌を歩く」を実施しました。今回、このイベントは十四回目となりました。

今回は十九名の皆さんにご参加いただき、昨年に引き続き「諏訪形入門 II」ということで田中の道祖神、諏訪神社、森の木一・二・三号古墳、中沢古墳、道近田の道祖神、洪島田遺跡など諏訪形の東半分の文化財を見学しながら、ゆっくりと諏訪形を歩きました。

今回も北沢伴康さん(諏訪形誌活用委員会顧問)、窪田善雄さん(諏訪形誌活用委員会委員)のお二人に講師をお願いし、解りやすく知ることができました。



ご参加いただいた皆さんの感想

- ・諏訪神社の「招魂碑」の内容は初めて知りました。難しかったですが、とても勉強になりました。
- ・諏訪神社の「レイライン」元旦の日の出が鏡に当たることは初めて知りました。
- ・田中、森の木、道近田、洪島田など、小字がわかって興味深かったです。
- ・古墳や遺跡のお話を聞いて、古代のロマンを感じました。

なお次回、第十五回「諏訪形誌を歩く」は七月二十一日に「須川地区散策(開拓地・伊勢神社・番所跡・観応の擾乱古戦場)」と「小牧山」を予定しています。詳しくは六月十六日の回覧でお知らせする予定です。

笹岡さんのオープンガーデン

あちこちのバラ園などから満開の便りが届いていますが、諏訪形にも素敵なオープンガーデンがあることをご存じですか？

今、笹岡さんのお宅南側の庭では、バラをはじめ色とりどりの花々が盛りを迎えています。笹岡さんは「たくさんの方にきていただくために、この庭を『オープンガーデン』にしておられます。散歩の途中などに、ご迷惑にならない範囲でちょっと立ち寄りさせていただけませんか？」

なお、この情報は笹岡さんの許可をいただいて掲載しています。



諏訪形公民館の

新しいクラブが活動を開始しました

諏訪形分館の新しいクラブ「カードゲーム・ボードゲームクラブ」(以下カードクラブ)が活動を開始しました。このクラブは会員二十人で、うち子どもが八人という構成で、子育て世代が中心となっています。そのため恒常的な活動はできませんが、長期休みなどに親子でいろいろなゲームを楽しむイベント企画を予定しています。

三月二十四日にはさっそく、カードクラブの第一回イベントが行われました。今回は会員が中心でしたが、声をかけたところ親子で参加してくれた方もいて、オセロ、将棋、双六(すごろく)など、それぞれが好きなゲームを楽しみました。中には初めて将棋をしたという子もいて、おおいに盛り上がりました。

また四月七日には、新年度最初の公民館掃除をカードクラブが担当しました。当日は子ども二人を含む八人で机、椅子、スリッパを拭いたり、トイレや床の清掃に汗を流しました。稲垣諒彦クラブ長は「学年代を越えて交流することで、子どもたちの世界が広がってほしいと考えています。子どもたちとゲームをしてくれる地域の方のご参加をお待ちしています」と抱負を語っています。



公民館という建物や公民館の行事にあまり馴染みのなかった子育て世代や子どもたちに、公民館を身近に感じ、利用していただくためにも、カードクラブのこれからの活発な活動を期待しています。

投稿・・・諏訪形公民館長 稲垣康史さん

上田市霊園西側水路改修工事の説明会が行われました

五月十日(金)、上田市土木課(土木課中村城下担当)より改修工事の説明がありました。その概要は以下のとおりです。

- ①用地の取得について
- ②水路改修計画概要について説明
- ・令和六年度は近隣の用地買収開始。
- ・令和七年度から八年度にかけて完成予定。
- ・工事改修長さ七一・五メートル。



かてりやの会・マレットゴルフクラブ交流親睦会

武石温泉つづくしの湯口帰りの旅



去る四月二十五日木曜日、かてりやの会と諏訪形マレットゴルフクラブの交流親睦会がありました。

当日は晴天に恵まれ、散策コース五名、マレットゴルフコース七名の計十二名が参加されました。散策組は、「パーク武石」という小高い丘にある二十体以上の石仏を見学したり、松ぼっくりを拾ったりと、ゆったり散策を堪能しました。マレットゴルフ組は、男女二手に分かれて、急勾配の激しい起伏に富んだ三コースに挑戦しました。そこに一枚記念写真を撮りました。

温泉に入り、お昼は、うつくしの湯特製の料理が振る舞われ、楽しいひとときを過ごしました。



投稿：諏訪形シニアクラブかてりやの会会計 金井保芳さん

城下まちづくり未来会議の総会がありました

去る四月二十七日(土)、城下まちづくり未来会議の総会が城下地区防災センターで行われ、事業計画や決算・予算が承認されました。

城下まちづくり未来会議は、城下九自治会小牧・諏訪形・須川・中村・朝日ヶ丘・三好町・御所・中之条・千曲町で構成され、住民による住みよい「まちづくり」を推進することを目的として、平成二十九年六月十七日に設立されました。活動費は全て上田市からの交付金(税金)で賄っています。

最近、特に力を入れているのは防災関係で、昨年防災倉庫を城下地区防災センター横に設置し、投光器、発電機、簡易テント、ポータブル電源等の備品の充実を図りました。諏訪形自治会も防災訓練等で利用することが出来ます。

また、事務所は、信州うえだ城下店の二階で、原則、火・水・木曜日は事務局員が常駐しています。そこにはプリンターやプロジェクターがあり、希望者にはコピーやプロジェクターの貸し出しも行っています。使用する場合は金井までご連絡願います。なお写真は「城下まちづくり未来会議」総会の様子です。



投稿：城下まちづくり未来会議会計 金井保芳さん

諏訪形シニアクラブかてりやの会 総会を開催しました

五月十一日、山越自治会長、西條社協会長、窪田民生児童委員の臨席を頂き、会員三十四名の出席のもと令和六年度総会を開催しました。柳澤会長、山越自治会長、宮下省二市議会議員のご挨拶に続き、各種議事を行い、新会長に大林正樹さん、新副会長に柳澤公一さん、小林とみ子さんを選出しました。

大林新会長はご挨拶で「会員の拡大」と「参加しやすい事業の取り組み」を提案され、この方針に基づき活動して行くことを確認いたしました。

総会に引き続き「城下地域包括支援センター」水上所長、荒井さん、松下さんによる「健康講話と健康運動」で楽しいひとときを過ごしました。その後、屋敷会と公民館に新規導入のwifiの紹介を兼ねて大林新会長はじめ歌自慢が「カラオケ」で唄を披露しました。

本会は「高齢者」のみならず「シニア層」まで含むクラブです。沢山の皆様のご入会をお待ちしています。入会のご相談などは宮下修身(090-2993-4318)までご連絡ください。

以下大林会長のご挨拶です。

会長に選任された大林です。高齢ですので二年間の任務を全うできるか心配ですが、役員と会員の皆さんに助けて頂き頑張りたいと考えておりますのでよろしく願います。

会長就任に当たり会員の皆さんにお願いすることを二点申し上げます。

一 「諏訪形シニアクラブかてりやの会」も、発足以来一二年が経過しておりますが、発足当時のメンバーがそのまま推移してきているような気がします。このことは会員の皆さんがこの会に入会した時の年齢の方が入会を誘われず悶々としているのではないのでしょうか。今年は「かてりやシニヤ」と言われる人への入会に取り組みする必要があります。役員だけでなく皆さん全員で近所のお兄さん・お姉さんを「諏訪形シニアクラブかてりやの会」へ誘って頂きたいと思っております。

二 本年度の事業計画は後程説明しご意見をお聞きすることになりますが、会員の年齢が高くなっているのに、若かった時と同じようなことをしては無理だということで、今年は恒例となっている湯ノ丸のツツジ見学は止めにしました。その代わり皆さんが参加しやすい集まりの会や学習会等を増やしていきたいと考えております。又導入したwifiを活用する場も設けて行きたいと思っておりますので大勢の参加をお願いします。

最後になりますがご来賓の皆様にはこれからも「諏訪形シニアクラブかてりやの会」の発展を後押ししていただくように切にお願い申し上げます。以上申し上げまして会長の就任挨拶とします。

投稿：諏訪形シニアクラブかてりやの会 宮下修身さん

石尊山(三本松)からの眺望復活！

諏訪形から朝日ヶ丘方面の小牧山を眺めると、一本の大きな松の木が立つピークが見えます。このピークが「石尊山」です。ここには雨を降らす「石尊大権現」の石祠がまつられ、かつて雨乞いの行事が行われていました。現在も諏訪神社の運営組織(諏訪神社委員会)による定例参拝が五月に行われています。しかし、ここに登っても木々が生い茂り、残念ながら眺望はあまり良くありませんでした。



石尊山(三本松)からの眺め



ところが先日、柳澤公一諏訪形誌活用委員長のご親族(山野井功さん)を通じて、塩田地区で小牧山の整備に尽力している「ナチュラリストクラブ・うえだ」の皆さんから「石尊山頂の雑木を伐採して眺望を回復しませんか」という提案が寄せられました。この提案は柳澤委員長から宮下省二諏訪形まちづくり委員長に伝えられ、ただちに「諏訪形伐採隊」が組織されました。隊員は、宮下隊長以下「トリプル窪田」の四名です。「トリプル窪田」とは、窪田和章と人両隊員はチェインソーを駆使してきばき作業を進めます。窪田善雄隊員は、借りた枝切りバサミでそれなりに頑張りながら、五月予定されている神社委員会の石尊山参拝行事が完璧な環境で迎えられることに内心ほくほくしていました。「ナチュラリスト・うえだ」の皆さんの協力もあって作業は順調に進み、約二時間で作業は完了、諏訪形が一望できる見事な景観が復活しました。

「石尊山」は、諏訪形の先人たちが大切に崇拝し管理してきた故郷の山です。ここに登って復活した素晴らしい諏訪形の眺望を眺め、あらためて故郷に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

【追伸】五月十二日(日)、本文で紹介した諏訪神社委員会の石尊山参拝行事が行われました。するとなんと山頂に先客が。先日一緒に作業をした「ナチュラリストクラブ・うえだ」の皆さんでした。思わぬ再会にお互いびっくり！石尊大権現のお導きでしょうか。クラブの皆さんは、「石尊山六八四m」という標柱を立てていたのです。その情熱にまたびっくり！

投稿：諏訪神社委員会総代・諏訪形誌活用委員会委員 窪田善雄さん